

復興に向け、東北で創業に挑む起業家が集う
ETIC. 震災復興リーダー支援プロジェクト
みちのく復興起業カンファレンス

～これからの未来をつくる起業戦略会議～

2012年5月12日(土)開催 @ 日本財団ビル(溜池山王)

NPO 法人 ETIC.(エティック)では、被災地・被災者への支援に向け、震災直後の2011年3月14日に震災復興リーダー支援プロジェクトを発足し、「5年後も10年後も若者たちが集い、起業家精神溢れる東北へ」を目標に掲げ、現地リーダーの右腕となる若手人材を97名(派遣予定者含む)派遣するなど、精力的に活動を続けてきました。

震災から1年が経過した東北では、積みあがる課題を解決するための人材やソーシャルビジネスが「今」必要とされています。一方、マスコミでの露出が少なくなるにつれて、現地で活動するボランティアの数はピーク時の10分の1となり、人材の不足が顕著となっています。また、地域の課題も複雑に連鎖しており、一筋縄で解決できないものも多くあります。

しかし逆境のなかでも果敢に挑戦している起業家やリーダーが確かに存在しており、企業・行政・NPO の枠組みを越えてかつてない協働が生まれ、新たな挑戦の機運が広がっています。参加者ひとりひとりが東北に生まれている挑戦の機会に触れ、具体的なアクションを起こすための道筋を考えるキックオフとして、「みちのく復興起業カンファレンス」を開催いたします。

取材にお越しくださる際は、お席の関係上、事前にご一報いただけますと幸いです。また登壇するゲストに個別に取材を希望されたい場合は、事務局で調整させていただきますので、下記担当までご連絡くださいますようお願いいたします。

公式WEBサイト: <http://www.etic.or.jp/recoveryleaders/michinokuconference/>

◆開催概要

- ・日時:2012年5月12日(土) 14:00-17:50 *交流会/相談会含む
- ・会場:日本財団ビル(銀座線「虎ノ門駅」3番出口より徒歩5分/銀座線・南北線「溜池山王駅」9番出口より徒歩5分)
- ・定員:80名 ・参加費:無料
- ・対象:○東北で起業をしている人、東北で起業をしたいと考えている人
○右腕やプロボノとしての参画を考えている人、自分が活躍できる舞台だと思った人
- ・主催:NPO 法人 ETIC. 震災復興リーダー支援プロジェクト

◆タイムテーブル(予定)

13:30 受付開始	15:30 リレートーク「最前線の現場で培ってきたもの」
14:00 オープニング	16:30 今後のご案内
14:10 パネルセッション「今、東北で挑戦する意味」	16:40 交流会
15:10 (休憩)	17:50 終了

お申込は、別添の FAX にてお願いします。 NPO法人エティック 担当:石塚
TEL : 03-5784-2115 FAX : 03-5784-2116 E-mail fukkou@etic.or.jp

登壇者紹介

■ パネルセッション 「今、東北で挑戦する意味」

島田 昌幸 氏 東北 ROKU プロジェクト／株式会社ファミリア 代表取締役

北海道岩見沢市出身。大学卒業後からさまざまなビジネスの立ち上げを経験し、09 年より仙台市にて仙台放送、地元農家と連携したマルシェジャポン仙台の運営に関わる。震災発生 2 日目からマルシェジャポンの仲間たちと共に炊き出しプロジェクトを展開。物資の行き届かない避難所を中心にこれまでに 2 万食以上の炊き出しを提供してきた。復興にむけて新たな雇用と東北の再生モデルの創出を目指した農林漁業 6 次産業化モデルファームを展開中。



清水 敏也 氏 八葉水産株式会社 代表取締役社長

気仙沼、創業 40 年目、八葉水産株式会社代表取締役社長。震災にて、6 つの工場、冷蔵施設が全て被災し、10 億円以上の被害を受けながらも、2012 年 3 月 12 日に本社工場の操業を再開、主力の塩辛の製造を始め、社員 70 人を再雇用し漕ぎつけた。また本業とは別に、帆前掛けで作ったバックやポーチなどの製品を扱う Ganbaare 株式会社をいち早く立ち上げ、復興の機運を牽引。一方、気仙沼市震災復興会議委員として、行政、学識経験者等と共に、震災復興の計画案作成にも携わり、地域全体の視野でまちづくりにも関わっている。



大石 佳能子 氏 一般社団法人東日本大震災被災地における地域医療を守る会 理事

株式会社メディア代表取締役。被災地支援活動に参加した医師たちから「被災地の復興には、現地の医療機関の復興が必須」との声を聞き、経営の専門家としてできることがあるのではと思い「東日本大震災被災地における地域医療を守る会(愛称:地域の医療を守る会)」の活動を開始した。



■ リレートーク 「最前線の現場で培ってきたもの」

松島 宏佑 氏 一般社団法人 ふらっとーほく 代表

1986 年、宮城県白石市生まれ。東京工業大学理学部物理学科卒。大学卒業後、まちづくり最先端の島、島根県隠岐郡海士町への移住。まちづくりベンチャー企業、株式会社巡の環(めぐりのわ)に入社。メディア事業や教育事業、地域づくり事業に関わる。震災を機に実家のある宮城県に戻り、災害ボランティアとして活動。被災地の温泉宿と提携して行った企画「ふらっとーほく一温泉宿に泊まってボランティア」が述べ 800 人以上のボランティアを集めることに成功。これがきっかけとなり、宮城県亶理町を中心に、継続的に復興支援を行うため 株式会社巡の環東北支部を設立する。2012 年一般社団法人ふらっとーほくを立ち上げ、代表を務める。



成田 好孝 氏 大船渡仮設住宅支援員配置支援プロジェクト

アカシック株式会社代表取締役。1979 年愛知県生まれ。立命館大学卒業。在学中より、国内では NPO 団体にて学生への議員インターンシップの運営、国外では国際交流団体にてアジア・アフリカ諸国を中心に訪問。卒業後、投資会社にて営業業務、IT 企業にて秘書・経営企画業務に従事。2008 年 8 月、アカシック株式会社を設立し、リアルなイベント等とバーチャルな WEB 世界の有機的な関係性をデザインするディレクターとして、新しい社会の在り方と個人の役割を追求するプロジェクトの現実化に取り組む。2011 年 10 月から岩手県沿岸地域における仮設住宅支援事業の統括マネージャの補佐役として活躍。



藤野 里美 氏 気仙沼・ともづなプロジェクト

陸前高田市出身。大学卒業後、IT ベンチャーを経て、大手企業でのウェブサイト運営や EC サービスの企画開発から広告宣伝まで幅広く従事。2012 年 2 月から気仙沼・ともづなプロジェクトに「右腕」として活躍。現地の事業者のウェブサイトの企画運営や販促企画を担当。ネットとリアル両面から気仙沼の人と地域をつないでいる。



茂木 崇史 氏 RCF 復興支援チーム フェロー

東京大学経済学部卒業。2002 年マッキンゼー&カンパニーに新卒で入社し、大手企業に対する戦略立案ならびに実行支援に関するコンサルティングに従事。その後、株式会社リンクアンドモチベーションにて、組織マネジメントならびにブランドマネジメントに関するコンサルティング業務に従事し、ブランドマネジメント事業の担当執行役員を歴任。現在は独立し、RCF 復興支援チームフェローとして、東日本大震災の復興支援に従事し、主に水産加工業を中心とした産業復興支援に従事している。



鶴賀 康久 氏 NPO カタリバ 東北復興事業部事業統括ディレクター

これまで全国述べ 4500 名のボランティアスタッフとともに、年間約 100 校の高等学校にキャリア学習プログラム「カタリ場」を展開してきた。2011 年度より、東日本大震災の被災地で放課後学校「コロボ・スクール」の立ち上げに従事。現在は宮城県女川町、岩手県大槌町の 2 つのエリアで「コロボ・スクール」の運営に関わっている。



葛巻 徹 氏 特定非営利活動法人いわて連携復興センター 事務局長

1977 年岩手県花巻市出身。大学進学で福島市、就職で仙台市と合わせて 8 年ほど県外で暮らす。サラリーマン時代は工業関係の営業をしながら、地元花巻の中間支援 NPO の活動に携わる。発災後、岩手県内の中間支援 NPO のネットワークを母体として、2011 年 4 月 釜石市の中間支援 NPO の代表である、鹿野順一らといわて連携復興センター(IFC)を設立。2011 年 8 月からサラリーマンを退職し、IFC で NPO 間、セクター間、県内外等をつなぐ業務に従事している。3 児の父でもある。



5月12日(土) 14時00分開始

みちのく復興起業カンファレンス ～これからの未来をつくる起業戦略会議～

会場地図



■会場

日本財団ビル
〒107-8404
東京都港区赤坂1丁目2番2号

■交通

○地下鉄銀座線「虎ノ門駅」3番出口より徒歩5分
出口より前方、歩道橋の向こうに日本財団の看板が見えます。

○地下鉄銀座線・南北線「溜池山王駅」
9番出口より徒歩5分
外堀通りを虎ノ門方面へ直進右手ガソリンスタンドの先の8階建てのビルです。

○地下鉄丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」
3番出口より徒歩6分
国会記者会館を左折、内閣府下の交差点を越え、外堀通りを渡った正面の8階建てのビルです

参加お申込票

FAX 03-5784-2116

※複数参加の場合は予定者全員のお名前または人数をご記入ください

ご芳名	
ご所属	
参加人数	
ご連絡先	メールアドレス： 電話番号：
ご要望・質問等	※特に聞きになりたいことなどありましたらお書きください。

【問合せ】NPO 法人 ETIC.(エティック) TEL:03-5784-2115 (担当:石塚)